

大学卒業程度試験（早期枠） 専門試験（林学） 例題

【森林政策】

本県の私有林スギ人工林は、全国一の面積を誇っており、私有林スギ人工林の約6割が伐期齢に達している。

今後、この豊かな森林資源を活用し、将来にわたって本県の林業・木材産業を発展させるためにどのような取組が必要か、「伐る」、「使う」、「植える」、「育てる」の観点から、それぞれ少なくとも2つ述べよ。

（解答記載例）

「伐る」：〇〇を整備する必要がある。△△を促進することが重要である。
□□を進める必要がある。

※「使う」、「植える」、「育てる」についても同様に解答すること。

【森林整備】

適切な森林整備を実施するためには、森林の生態を理解する必要がある。

次の①～⑤の森林生態や森林整備に関する用語について、それぞれ説明せよ。

- ① 森林の多面的機能
- ② 下刈り
- ③ 挿し木苗
- ④ 極相林
- ⑤ 松くい虫被害

【林業土木】

山腹の崩壊現象のうち、地すべりはその特殊性から、対策工は通常の上腹工ではなく地すべり防止工事を実施する必要がある。

これについて、地すべりと通常の上腹崩壊の違いを少なくとも3つ述べよ。

（解答記載例）

地すべりは〇〇であるが、崩壊は××である。

【木材加工・利用】

我が国では、住宅や非住宅施設において木造化・木質化を積極的に促進しているが、建築物に木材を使用することが、利用者や建築者、環境及び産業にとって、どのような効果や良い影響があるのか、少なくとも5つあげよ。